



平成 30 年 5 月 31 日

**最新型手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ Xi」を導入
岡山県内で唯一 2 台での運用開始
～胃がん、肺がん、膀胱がん、子宮体がんなど多くの術式が可能に～**

岡山大学病院は、平成 22 年に導入し、これまでに約 800 件の手術を行ってきた内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ S」¹⁾に代わり、平成 30 年より最新機種「ダ・ヴィンチ Xi」と「ダ・ヴィンチ Si」を導入しました。2 台での運用は岡山県内で唯一です。平成 30 年 4 月の診療報酬改定で、新たに 21 種類のロボット手術が保険適用となった²⁾ことから、当院でも大幅な手術件数の増加に対応できる体制を整えています。

■発表内容

岡山大学病院は平成 22 年 8 月に岡山県内で最初に「ダ・ヴィンチ S」を導入し、約 800 件のロボット手術を行ってきました。平成 29 年には約 150 件のロボット手術を行いました。これは全国の国立大学附属病院の中で第 1 位の実績です。

ロボット手術は、術式ごとに厚生労働省の定める施設基準を満たした施設でしか保険請求することができません。平成 30 年 4 月の診療報酬改定で、これまでの前立腺がん、腎がんに加え、新たに 21 種類のロボット手術が保険適用となりましたが、高い技術を要する多くの術式での手術や、大幅な手術件数の増加に対応できる施設は全国でも限られています。

岡山大学病院は、今回新たに保険適用となった胃がん、膀胱がんのロボット手術を即時に開始できる体制がすでに整っており、これは県内で唯一です。また縦隔腫瘍、肺がん、食道がん、直腸がん、子宮体がんに対するロボット手術も準備が整い次第、今年中に開始できる見込みです。

【岡山大学病院で平成 30 年中に新規に開始予定のロボット支援下内視鏡手術】

- 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術
- 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術
- 腹腔鏡下胃切除術
- 腹腔鏡下胃全摘術
- 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
- 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術
- 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術
- 胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術
- 腹腔鏡下噴門側胃切除術
- 腹腔鏡下直腸切除・切断術
- 腹腔鏡下腔式子宮全摘術



PRESS RELEASE

■補足・用語説明

1) 手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」

複雑で緻密な動きができるアームと高性能カメラが付いたロボット。体の表面に開けた小さな穴からお腹にカメラを入れ、映像を確認しながらロボットの手を動かす腹腔鏡手術の一つ。執刀医は手術台から離れた作業台に映る3D画像を見ながら、アームの先端に取り付けられた鉗子进行操作して、がんなどの患部を切除する。

2) ロボット支援下内視鏡手術の保険適用対象

平成30年度の診療報酬改定で、ロボット支援下内視鏡手術の保険適用対象部位が拡大し、従前の前立腺、腎に加え、新たに胃がん、膀胱がん、縦隔腫瘍、肺がん、食道がん、直腸がん、子宮体がん、弁形成が対象となった。

<お問い合わせ>

岡山大学病院泌尿器科 低侵襲治療センター

講師 小林 泰之

(電話番号) 086-235-7287

(メール) kobayasu@md.okayama-u.ac.jp



岡山大学は、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」を支援しています。